

# 訪れたいまち

愛知県田原市



三宅坂

霞が関の中央合同庁舎第二号館北から半蔵門交差点に向かつて、皇居内堀沿いに続く緩やかな坂道、三宅坂。その途中にある国道246号の起点は三宅坂交差点。三宅坂交差点地下の首都高速道路には三宅坂ジャンクションがある。坂の名前は、現在の国立劇場、最高裁判所付近に江戸時代、三宅家の上屋敷があったことに由来する。三宅家は二万二千石の譜代大名、三河国田原藩、現在の愛知県田原市である。

## 旧市街地の空洞化

田原市の中心市街地は、城下町として現在の基礎が造られ発展した。その後、豊川用水通水による農業の発展と、臨海部の造成や企業誘致・操業の結果、人口は増加し、郊外の大規模団地開発や区画整理が行われ、市街地が拡大した。

反面、元からの市街地は、城下町の特長から車社会になじまないなど対応が遅れ域内人口は減少に転じた。

## すべては田原駅前通り線から始まった

中心市街地の活性化に向けた田原市の計画は、三河田原駅を中心とした市街地へのアクセシビリティを高めるため、



渡會さん

昭和40年に田原駅前通り線が都市計画決定したことから始まりました(田原市街づくり推進課主査渡會英樹さん)



駅前の工場跡地の活用について熟考する太田部長(左)と柴田課長

また、「田原駅前通り線は、臨海部工業地帯から中心市街地および三河田原駅を経て渥美半島の背骨である国道259号を結ぶ田原中心市街地の発展に必要不可欠な道です」(田原市街づくり推進課長柴田高宏さん)

田原駅前通り線は全長4.07kmで、うち中心市街地部分は約570m。その整備を進める強力なエンジンには、北から「旭町はなとき通り」(街路事業)、「セントファイア」(田原中央地区第一種市街地再開発事業)、「三河田原駅周辺」(街路事業の三つだ。



夜のイルミネーションも美しいはなとき通り

課題もある。「出  
来上がってみると道  
路幅が広く、通過交  
通量も増えた。良い  
ことも多いが、通り  
を行き来できるとい  
ういわゆる商店街で  
はなくなってしまった  
(株)菓子蔵代表  
取締役関由典さん

前をセットバックし、電気・水・放送の基盤を備えた多目的広場を整備した。これにより商店街として特徴のあるイベントを素早く行える。「商店街が主催してフリーマーケットや夜店などのイベントを行って」（田原旭町通り商店街協同組合理事長関充利さん）。「完成から20年、街路樹も大きく育ち自慢できるものになった。ここをシャンゼリゼ通りに負けないイルミネーションで飾りたい」（高久さん）

関充利さん(左)と高久さん



### 蔵王山

市の北部に位置する蔵王山の頂上から三河湾への眺望はすばらしく、メガソーラーの施設などを一望することができる。8目にある愛染明王と中心市街地を核とした「幸せの四つ葉プロジェクト」を民間が中心となり推進中。頂上には「地球資源を活かした環境負荷の少ないまちづくり」に取り組む田原市のシンボルともいえる風力発電施設が設置されている。ふもとにある田原城跡の桜門は「かなりこだわって復元しました」（田原市都市建設部長太田次男さん）。田原城跡周辺は、今なお城下町の風情を残している。

### おしゃれな旭町はなとき通り

「旧旭町商店街の地権者は30人以上。行政だけの調整では進まなかったので、商店街の持ち出しで打合せを何回も行った。自分たちのまちだから」（田原旭町通り商店街協同組合前理事長高久昭夫さん）

### 身の丈再開発とセントファール



関由典さん

今後は利用価値の高い多目的広場の使い方が商店街の活性化につながるのには間違いない。

田原旭町通り商店街に南接する田原中央地区は、広さ1.6ha。街路・広場など都市基盤の整備と老朽化した市街地を更にし、商業・業務などの機能集積を図り、賑わいの拠点として再生する。さらに、景気に左右されない市民参加型の計画を実施し、住民が必要とするテナントを集めた商業施設「セントファール」をオープンさせた。

その運営・管理は田原市・商工会・地元企業・商店主および個人が出資する「株」あつまるタウン田原が行い、住民のニーズに即応できる施設の実現を図っている。

### シンボルロードの完結 田原駅前周辺の各事業

中心市街地の沿道は、街路樹や街路灯



市民参加で実現した商業施設「セントファール」



中心市街地活性化の核となる三河田原駅。安藤忠雄建築研究所の設計



渥美線カラフルトレイン。咲き誇る渥美半島の花々がデザインされた10色の電車



彦坂さん

のデザインをゾーンごとに統一、電線を地中化し、景観に配慮したシンボルロードの役割を担っている。

計画の段階から、まちが分断されないように、「駅の裏表を作らないように腐心した。年寄りにも優しい駅にしたかった」(駅前を考える会彦坂敏行さん)。「昔の駅は子どもの遊び場だった。新しい駅前も楽しいものになってほしい」。今後の課題は「駅前に残る工場跡地の利用方法が田原を盛り上げる重要なピースとなる」。

### 地産地消、健康、さらに付加価値 ダブルパワーの 「幸せの四つ葉プロジェクト」

「セントファールを運営して感じるのは、地産の安全な食、健康に役立つものについては市民、消費者の興味は高いということ」(株)あつまる田原代表取締役安田幸雄さん。「入れ物としてのまちなみと施設はできた。今後は、それをどう生かしていくか新しい物も古い物も活用することを進めたい」。

中心市街地の活性化を目的に設立された(株)あつまる田原では、



安田さん



活性化策をいろいろサポートする折戸さん

新たな観光資源の創出と障がいのある方の就労支援、まちなかの賑わいづくりなどを目的に「幸せの四つ葉プロジェクト」を企画。プロジェクトに参加する田原産所では、地産の四つ葉のクローバーを田原のシンボル蔵王山に鎮座する愛染明王にご祈禱し、グッズを製作し販売する。「現在、地元の高校を含め20店舗などが参加し約40種類のグッズが製品化、販売されています。幸せの四つ葉まち歩きガイドブックも作成される予定です」(田原市街づくり推進課主査折戸裕美さん)。「幸せの四つ葉プロジェクト」にも参加する関田典さんは、「広く快適な数百メートルの通りを車は数十秒で通り過ぎていく。交通量が増え、駐車場もできただけが止まってもらわなければいけなくなつた。専門店として魅力的な商品を開発する企画力と、それを伝える発信力が必要になつた」と言いつつ、

駅前から北へ約570mの

## 見て・食べて・遊んで楽しむ 渥美半島菜の花まつり

2015年1月10日(土)～3月31日(火)



愛知県渥美半島では1月上旬から約1200万本の菜の花が咲き乱れ一足早く春の息吹を運ぶ。メイン会場の伊良湖菜の花ガーデンほか見どころ満載。

遊びに  
来てキャベ!



渥美半島☆観光大使キャベゾウ

<http://www.taharakankou.gr.jp/>



本物の四つ葉のクローバーが入った蔵王山愛染明王の「幸せ守り」



障がいのある方が、四つ葉や五つ葉が出やすい株を使って、クローバー栽培も行っている

全国各地で働く  
国土交通省職員が  
地元を紹介!

# MLIT レポート 愛知県

## 伊勢湾海上交通センターのご紹介

Reporter

第四管区海上保安本部  
伊勢湾海上交通センター整備課長

多地 和弘



**伊勢湾海上交通センターは、「伊良湖水道」の安全を確保します**

伊勢湾の玄関口にあたる伊良湖水道は、渥美半島先端にある伊良湖岬（愛知県田原市）と神島（三重県鳥羽市）の間にある狭水道で、大型船舶は、ここを通らなければ、太平洋から伊勢湾・三河湾に出入りすることができません。この狭水道の安全を確保するため、航路を設け通航方法等の特別なルールが定められています。

伊勢湾海上交通センターは、この海域を船舶が安全に航行できるように、きめ細かな情報提供と航行管制の業務を一元的に行うため、伊良湖水道を見下ろす高台に設置され、平成15年7月から運用を



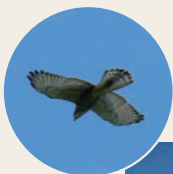
航行管制する運用室

始めています。

航空宇宙産業・精密機械産業などが盛んです。これら産業の製品のほとんどが、海上物流により支えられており、当センターは、この輸送経路となる伊勢湾・三河湾および遠州灘・熊野灘に至る海域で船舶の安全確保に日夜努めています。

風光明媚な伊良湖岬の高台にある当センターの屋上は、一般の方に開放しており、ここからの展望は、太平洋、伊勢湾・三河湾を見渡せ、渡り鳥の「サシバ」の飛来時期（9月、10月）には、多くのバードウォッチャーも訪れます。また、春・秋には、運用室など施設内部の見学もできる一般公開を行っています。伊良湖にお越しの際は、「伊勢湾海上交通センター」にお立ち寄りになり、屋上からの絶景をご覧になってください。（伊良湖港・道の駅「伊良湖クリスタルポルト」または恋路ヶ浜の駐車場から徒歩約15分）

伊良湖周辺の海の安全情報や施設公開の予定は、ホームページでお知らせしています。



## ぜひ一度センターにお越しください



伊勢湾海上交通センター

サシバ

恋路ヶ浜

伊良湖岬灯台

伊良湖水道



恋路ヶ浜（永遠の鐘）



伊良湖岬灯台



センター管制信号版



伊良湖水道航路を通航する船舶

サシバ  
(鷹の仲間)